南陽市議会
第 126 号
5.2.20
分 1 / 1 / 3 類
保存 5 年

令和 5 年 2 月 20 日

南陽市議会議長　船　山　利　美　殿

会派　無会派　船山利美

令和４年度 会派先進地等調査の報告について

このことについて、次により先進地等調査を実施いたしましたので、南陽市政務活動費に関する内規第４条の規定により報告いたします。

項　　目	調　査　・　研　修　内　容
調査期日	令和５年２月２日(木)から４日(土)まで　２泊３日
調査場所	①　徳島県徳島市議会　②　徳島県海陽町
調査目的	①　防災サポーター・自主防災組織・とくしま見守りねっとの活動について ②　阿佐海岸鉄道「デュアル・モード・ビーグル」について
調査概要	① 別紙のとおり ②
その他	

別紙

調査概要

① 防災サポーター・自主防災組織・とくしま見守りねっとの活動について

（１）自主防災組織について

単位自主防災組織はほとんどが町内会単位であるが、一部自治会や企業で組織され７５６団体となっている。阪神淡路大震災の翌年の平成８年から組織化が始まり、組織率が100%になったのは令和４年と比較的最近で、どこの自治体も組織化には苦労されているようである。また、単位組織の上部団体として、地区自主防災連合組織が主に小学校区、一部行政区ごとに２９組織が結成されている。

役員任期は単位組織が本市のような地区長・町内会長の１年交代が多いとのことで、連合組織は２年となっているが回り番であるため、有事の際には課題が多いようである。

しかし、避難所には「ファーストミッションボックス」というのが備わっており、有事の際に最初にやるための指示書として「避難所運営の手引き」などがそなわっている。また、市役所職員の研修も充実している。

更に東南海地震を想定した津波避難場所が高速道路１３カ所に設置されており、危機感を持たれているように感じた。

（２）防災サポーターについて

防災サポーター登録育成事業に取り組んでおり、「今伝えたい・知って欲しい防災情報」の発信をしている。防災サポーター募集は防災士資格保有者で市内在住だけでなく、徳島市内で就業している他市の人も広く募っている。理由としては行政からだけだと伝わりにくい面があるが、他市の人からＳＮＳで発信してもらうと伝わりやすいとのこと。

初年度定員は１５名だが今後も新規登録者を募り、初年度登録サポーターが新規登録サポーターを指導・育成するメンター制度を導入予定し、大規模災害時には避難所等において市民を牽引する役割を担う体制の構築は重要な取り組みだと思う。

（３）とくしま見守りねっと

目的は協力事業所等による高齢者・障害者見守りネットワークを構築し、それぞれの業務や地域活動のなかで見守り活動や安否確認を実施することにより、高齢者や障害者等が安心して暮らせる地域づくりを目指すというもので、民間事業所が３０社、関係機関９か所、地域の見守り団体等が協力し合って活動している。

特に決まった訪問等はなく、日頃の事業活動のなかで意識して見守り活動を

するということで

- ✧ 数日間、新聞・郵便物等がたまっている
- ✧ 数日間、洗濯物が取り込まれていない
- ✧ 電気・ガス・水道等の使用状況が不自然である
- ✧ 窓・カーテン・雨戸が開閉された様子がない
- ✧ ゴミなどが処理されず溜まっている
- ✧ 最近、姿をみない　　　　など

異常と感じた場合は地域包括支援センターや障害福祉課に連絡するというもので、実績として令和１年は３４件、２年は５３件、３年は４０件となっており、救急搬送されて助かった方や残念ながら死亡で発見された方などもあったとのこと。

ゼロ予算での運営ということではあったが年 1 回の意見交換などもしており、民間事業所等との見守り協力は今後本市においても必要ではないか。

② 安佐海岸鉄道 DMV（デュアル・モード・ビークル）について

フラワー長井線の車両の老朽化に対して、新しいシステムの車両が取り入れることができればコスト軽減に繋がる可能性があるのではないか、との思いで視察研修を行った。ＤＭＶはマイクロバスを改良し乗車定員は２２人で「線路と道路」それぞれ有効性を生かして鉄道車両になったり、定期バスになったりするもので、確かに利便性は高いと感じるが、国内需要は無く大量生産が出来ないため１台あたり１億４千万円の改造費ということで高額となっている。

また、国の「ＤＭＶ技術評価委員会」より、ＤＭＶの運行に関する前提条件が示され、主な前提条件として、３つ挙げられている。

- ✧ ＤＭＶ車両のみが走る「ＤＭＶ専用線区」であること
- ✧ 線路上で行き違いしない単線であること
- ✧ 2 両以上が連結しない「単車運行」であること

以上のような厳しい前提条件があることから、フラワー長井線のように朝晩大勢の高校生が利用する交通手段としては、無理があるようだ。

更に雪の多い地域では駆動に多少難点があり、フラワー長井線では少し難しいのではないかと感じてきた。

③ 阿波踊りを体験して

お祭りの形態として山形県の花笠踊りと通ずるものがある、徳島県民が愛してやまない阿波踊りを「阿波踊り会館」で視察・体験してきた。当初、手を振ればできると思っていたが、そんな簡単なものではなく「男踊り」「女踊り」「若者踊り」など、多種多様な組合せと、テンポも鐘しだいで自在に変えることが出来、手・指のしなやかな動きには感動するものがあった。花笠踊りとの違いを肌で感じてきた。